

教会だより

松本カトリック教会
教会委員会
松本市丸の内9-32
TEL 0263-32-0795

《神父のつぶやき》

主任司祭 白木信一

今私たちは復活節を過ごしていますが、4月30日は復活節第4主日で「世界召命祈願の日」でした。「召命」というものは、司祭や修道者に限ったことではないのですが、この日は「司祭・修道者の召命」に焦点があてられています。それで、司祭の召命ということに目を向けたいと思います。

横浜教区においては、「司祭の召し出しと成聖のために、祈りと犠牲をささげ、神学生養成のために経済援助をすることを目的としている」一粒会というものがあります。毎年その一粒会大会が開催され、横浜教区全体から多くの信徒の方々が集まるほどに、召命に対する関心を広め深めています（ちなみに、来年度の一粒子大会は長野県中信・南信地区が当番だそうです）。近年、神学生の数は、少ないながら横浜教区が全国で一位あるいは二位を維持していますが、これは一粒会の働きがあつての成果だと評価されています。

下記に示しているように過去20年の5年おきの教勢調査を見ると、信徒数は増減の変化が多少あるもののあまり変化がありません。しかし、外国籍信徒の多くの方々は籍を置いていないので、実際はかなり増加しています。それに対し、教区内の司祭数は減っているものの、教区司祭の数はそれほど変わっていません。この統計から、横浜教区の一粒子活動の成果が見てとれます。しかしながら、信徒数に対する司祭の数が減少しているのは現実です。しかも、教区内の司祭が全員小教区を担当しているわけではありません。教会の現状を見るなら、司祭の召命について今後も祈っていく必要があるでしょう。また、召命が沢山出てくる小教区へと成熟していくことも大切です。

横浜教区における司祭の状況

西暦	信徒数	教区司祭数	教区内司祭数	小教区数
2002	51,994	44	136	84
2007	53,765	42	118	84
2012	54,797	43	115	83
2017	54,815	43	95	77
2022	52,929	42	98	77

司祭不足ゆえにではないのですが、第二バチカン公会議以降、信徒の一般祭司職・預言職・王職の使命をもっと強く意識する動きになっています。司祭でなくても信徒ができる奉仕職が信徒に委ねられるようになってきているのもその意識からです。代表的な奉仕は、「聖体授与の臨時の奉仕者」でしょう。

それは司祭不足の解消のためではないのです。信徒、修道者、司祭それぞれが、それぞれとしての宣教の使命を担っているのです。そのような本来の教会の姿を「共同宣教司牧」という表現で示しています。

それぞれの小教区がキリストの教会として成熟していき、さらに司祭の召命が多く出るような教区になればと、以前からも今も願っています。



《教会委員会より》

- 5月8日以降、マスク着用は個人判断とします。
また、消毒用アルコールは、無くなり次第終了とします。
必要な方は各自でご用意ください。
- 答唱詩編及びアレルヤ唱を、聖歌隊が中心となり歌います。
今後、順次歌を増やしていく予定です。
- 聖歌隊席は、先唱者席側の前の席とします。
- 聖母月の5月は、主日7時のミサの後 及び 10時のミサの前 9:25から
ロザリオの祈りを行います。
- 5月からおしゃべりカフェを再開の予定です。
- 6月11日、初聖体（3名の予定）。
お祝いの会は、教会学校の主催で行い、一般参加も可能です。
- 教会内各部屋の使用予約表を作成しました。
- 信徒館での、食事を含む会合も、5月8日以降OKとなります。
- 横浜教区懇談会は、7月29日30日にクララ会軽井沢修道院で開催。
- 堅信式(10月15日)、幼児洗礼(10月29日)の案内を別紙で用意してあります。

生涯養成スタッフ & 教会学校スタッフ 大募集！

長らく生涯養成スタッフが不在で、黙想会が行えておりません。
現在、教会学校スタッフも人手不足です。
教会学校スタッフが、生涯養成まで兼任する事は難しいとの結論に至りました。
そこで、改めて生涯養成スタッフを募集します。また、教会学校スタッフも募集します。

～生涯養成スタッフ～

信徒のために、黙想会の
企画・運営をします。
過去には信徒のための講習会
も企画されていました。

～教会学校スタッフ～

小学生の子どもたちへのレッスン
を通して自らも学びを得ます。
教会学校の行事の企画・運営をします。

少しでもお力添えいただける方は、ぜひ教会学校スタッフまでお声がけください。
養成委員・徳島